

「教育データの利活用に関する実証事業」の詳細

教育データの利活用に関する実証事業の詳細は以下の通りです。

1.概要

NTT Com が GIGA スクール構想向けに自治体へ提供している「GIGA スクールパック」に付帯している「AAR ポータル」を活用して実証事業を行います。「AAR ポータル」は、子どもたちが「見通しを持って (Anticipate)」、「学び (Action)」、「振り返る (Reflection)」という学習プロセスを繰り返し、自己調整を行いながら学びを深める AAR サイクル^{※4}を実現するためのポータルです。すべての子どもたちの可能性を引き出すことをめざし、一人ひとりの理解度や学習履歴などの教育データを利活用し、個々の学びの進度に応じた最適な学習機会を提供します。

AARポータル

A

Anticipation
見通し

時間割から一週間の授業や
予定を把握して見通しを立てる

R

eflection
振り返り

授業中に撮った黒板やノートをアップ
したり、振り返りを入力したりして、
学びの記録を残す

A

ction
学び

時間割から授業を選択すると
授業で使うコンテンツにアクセスして、
学びを始められる

※各機能は順次リリース予定です。画面イメージは変更になる可能性があります。

<AAR ポータルのイメージ図>

2.期間/実証場所

2025年6月～2027年5月

3.場所

市内2小中学校

※4：AAR サイクルとは、OECD の「Education 2030 プロジェクト」が将来の教育のあり方について協議、検討した成果として公表した、「子どもが継続的に自らの思考を改善し、集団のウェルビーイングに向かって意図的に、また責任を持って行動するための反復的なプロセス」のことです。